



あなん カルチャー

■ The Nest 魂の宿るところ チェロ・ピアノ・浄瑠璃人形・現代アートによる 総合芸術公演



日時 11月9日(木)
19:00開演 (18:30開場)
場所 コスモホール (情報文化センター)
入場料 【全席自由】 一般 2,000円
大学生まで 1,000円
※当日券は500円増し
チケット販売場所 情報文化センター、文化会館、平
惣 (阿南センター店・羽ノ浦国道
店・小松島バイパス店、徳島店)、
徳島新聞各販売店 (取次ぎ)
問い合わせは 情報文化センター (☎44-5000) へ

■ 昭和のうたコンサート～北海道歌旅座～

日時 11月8日(水)
14:00開演 (13:30開場)
場所 コスモホール (情報文化センター)
入場料 【全席自由】 2,000円 ※当日券は500円増し
チケット販売場所 情報文化センター、文化会館、徳
島新聞各販売店 (取次ぎ)
問い合わせは 情報文化センター (☎44-5000) へ

■ 「文化財講座」の開催について

日時 12月2日(土) 13:30開会
場所 文化会館1階 視聴覚室
参加費 無料
内容 「東大地動観測所と今村明恒博士について」
講師 阿南市文化財保護審議会会長
湯浅良幸さん
「若杉山遺跡について」
講師 同審議会委員 高島芳弘さん
「植物相・昆虫相からみる温暖化について」
講師 同審議会副会長 古川良夫さん
同審議会委員 浅川 實さん
問い合わせは 文化振興課 (☎22-1798) へ

■ 邦楽への招待Vol.18 ～尺八二管の個性～ 貝出光山×高橋侶山リサイタル



日時 12月17日(日)
13:30開演 (13:00開場)
場所 コスモホール (情報文化センター)
ゲスト 内田道子 (箏、三弦)、内田隆章 (三弦)、
山上朋代 (17弦)、多田英治 (箏、三弦)
入場料 【全席自由】 一般1,500円 大学生500円
※高校生以下は無料
※当日券は500円増し
チケット販売場所 情報文化センター、文化会館、徳
島新聞各販売店 (取次ぎ)
※尺八無料体験実施
問い合わせは 情報文化センター (☎44-5000) へ

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯浅良幸

阿波の藩札 (二十一)

阿波貨幣史

閑話休題「阿波藩札」についての記述も終わりに近づいてきた。うぬぼれかも知れないが、藩札について私が書かないと書く人はいないだろう。随分前、「徳島新聞」に阿波藩札について寄稿があった。鳴門の方らしいが、初めて聞く名前だった。筆者は「阿波貨幣史」「徳島県史」等を執筆しているが、この寄稿の内容は「阿波貨幣史」「県史」の引き写しだった。しかし、出典の「阿波貨幣史」の記述はなかった。出典記



述がなければ盗作の疑いをもたれる。たびたび拙著「阿波貨幣史」が出てくるが、まずこの本を紹介しておく。

昭和三十一年九月二十五日発行。発行所は徳島市立図書館。定価は地方自治体発行のため記載されていないが五百円である。A5判で本文百八十ページ。発行部数は五百部。

わがことを書くのは気が引けるが、資料なので「阿波貨幣史」の序を紹介しよう。筆者は羊我山人。今日、このペンネームを知っている人は少ないが、県郷土史界の第一人者、飯田義資氏である。先生の没後久しいが先生を超える郷土史家は出ていない。名前の「義」の字を二つに分け山人を付けたものだ。序文を引用しよう。

序

最近半世紀の間における歴史研究の様相を概観すると、まず政治史に始まり、ついで文化史に進み、さらに経済史に及んだと言い得ると思う

のである。初めは誰の目にもつき易い著しい表面的事実から、次第に内面的事実に至り、ついにそれらの基礎を探究するという方向をとったのである。しかも各分科においてははいよいよ微に入り細をうがって進展して行くのが現代の大勢である。

ところが経済史に関する史料は、永い間閑閑に付して顧みられなかった。この間に滅失して比較的現存するものが少なく貨幣史に至っては最も研究が困難であると思われる。古泉(銭)や藩札の蒐集家は、県下にも相当数居るがそれは単なる好事家であり、あるいは骨董趣味に止まり、それらの人たちの中からこれを学問的に解明し体系的に追究しようとする人は出ないので、それはその目標を異にするための当然の帰結であろう。

阿波藩の貨幣史については、従来成書は一部も見ず、論文の有無を知らない。文献が少ない上に、貴重な実物資料はすでに散逸してしまっている。この研究の本当の意味では発掘作業に属するものである。従って今日までこの困難な研究に着目する人士さえも絶無であったのである。これは恐らく努力を要することが多い割合に、結果は地味であって価値は多いが花々しくはないためだろう。

参考 湯浅良幸著「阿波貨幣史」(続く)



科学 センター

青少年のための 科学の祭典徳島大会 (無料)

阿南市をはじめ、県内の学校や企業、大学などから、科学体験や工作ができるブースが多数出展されます。子どもから大人まで科学を楽しめる催しです。
日時 11月25日(土)、26日(日) 午前10時～午後4時
※実施内容等、くわしくは、学校を通じて配布されるチラシをご覧ください。

科学の祭典記念講演会 (無料)

科学の祭典開催を記念して、次の科学講演会を実施します。
○日本にきた虫、来る虫、消えた虫
日本固有の昆虫や外来の昆虫、また絶滅した昆虫について分かりやすくお話をさせていただきます。

日時 11月25日(土) 午前10時30分～11時30分
講師 いきものふれあいの里 センター長 大原賢二さん
※講演会に参加した小学生以下のお子さんにもれなくカプトムシの幼虫をプレゼント。

○恐竜はなぜいなくなったのか?

恐竜が絶滅した理由は巨大隕石だと言われていますが、それに異を唱える意見もあります。そんな恐竜絶滅の他の可能性についてお話しします。
日時 11月25日(土) 午後1時30分～3時
講師 日本スペースガード協会 二村徳宏さん
参加方法 いずれの講演会も開始時間までに科学センター2階の会場までお越しください。

わくわく科学の広場 (無料)

簡単に楽しい子ども向けの科学工作を中心に行います。どなたでも参加できます。
実施日とテーマ
11月3日(祝) 「ふわふわ鳥を飛ばそう」
11月23日(祝) 「教訓コップを作って遊ぼう」
実施時間 それぞれ午前10時～11時40分、午後1時30分～3時30分
参加方法 当日、実施時間内に科学センターにお越しください。

問い合わせは 科学センター
(☎42-1600) へ
11月の休館日
6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)